

## 第5回震災遺構検討会議（旧門脇小学校校舎） 概要

日 時：平成29年3月30日（木） 午後6時～午後8時

会 場：石巻市役所4階 庁議室

概 要：

- (1) これまでの「震災遺構検討会議（旧門脇小学校校舎）」の振り返りについて
  - ・第1～4回「震災遺構検討会議（旧門脇小学校校舎）」で出された意見等について確認した。
- (2) 震災遺構（旧門脇小学校校舎）の整備等に関する協議について
  - ・校舎整備に関するケース別比較（案）と震災遺構整備方針（案）について意見を交換した。

### 会議での主な意見

- ・震災遺構になるのだから周囲の賛成が必要であり、住民の迷惑にならないよう、敷地の除草などの管理が必要である。
- ・幌を外した時、どのような見え方になるのか忘れてはならない。
- ・壊す場合は現状を記録してほしい。
- ・伝承・教育のための震災遺構として、活用する仕方を考える。
- ・校舎裏をつたって逃げた所は大事な場所のため、校舎裏の導線の保存について議論する。
- ・全国や全世界中の人々から支援を受けた恩返しに、被害の現状を後世に残す。
- ・津波火災の教訓として、津波が到達した場所や火災があった場所を残す。
- ・「泥（津波堆積物）のまま」の場所は、当時の実情を伝えるため残す。
- ・門小の左右対称の安定感を考慮して、ケースBの左に1スパン追加すると良い。
- ・1スパン増やすと避難の点から、今の旧門脇小学校の階段のように両側に階段を作った方がよい。
- ・学校の歴史ということで正面だけでも残してほしい
- ・地域活性化のための遺構として残し、支援の借りを返す。南浜に残る遺構や祈念公園と連携し残す。
- ・震災直後のまま残された旧門脇小学校校舎内部について「公開活用の是非」、「どのように見てもらうか」を具体的に検討する。
- ・旧門脇小学校について伝承していくには地域の方々の力が必要なため、特別教室、校庭、体育館は地域の活動の場とする。
- ・資料、映像を特別教室に全て集めて発信することはインパクトがある。
- ・グラウンドの広さを考えた場合、プールを削った部分の余裕で駐車場を設けることができるのではないかと。
- ・過疎になった地域の活性化を考えると、学校、保育所、教育施設を戻すことが必要である。
- ・方針策定後は、全部お任せとならないように、会議後も参加者の意見を取り入れる。
- ・復興祈念公園の計画では、既に市民活動の重要性が位置づけられているが、遺構の整備方針策定も、実際に伝承活動の担い手となる地域の町内会や団体の参画を得て行う。
- ・予算を考慮して議論をする。
- ・災害があった場合を考慮して、避難路を整備してほしい。
- ・復興の過程をアーカイブし続ける。
- ・旧門脇小学校の伝統や歴史を見てもらう。
- ・計画段階の予算なので詳細な検討をする機会を設けてほしい。
- ・子ども達が避難したことを明記してほしい。